



# シブヤ大学

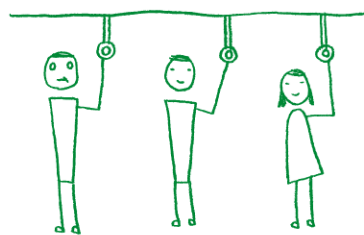
見えないけれど、  
そこにある。

特定非営利活動法人シブヤ大学  
東京都渋谷区宇田川町5-2 渋谷区神南分庁舎2階  
<http://www.shibuya-univ.net>



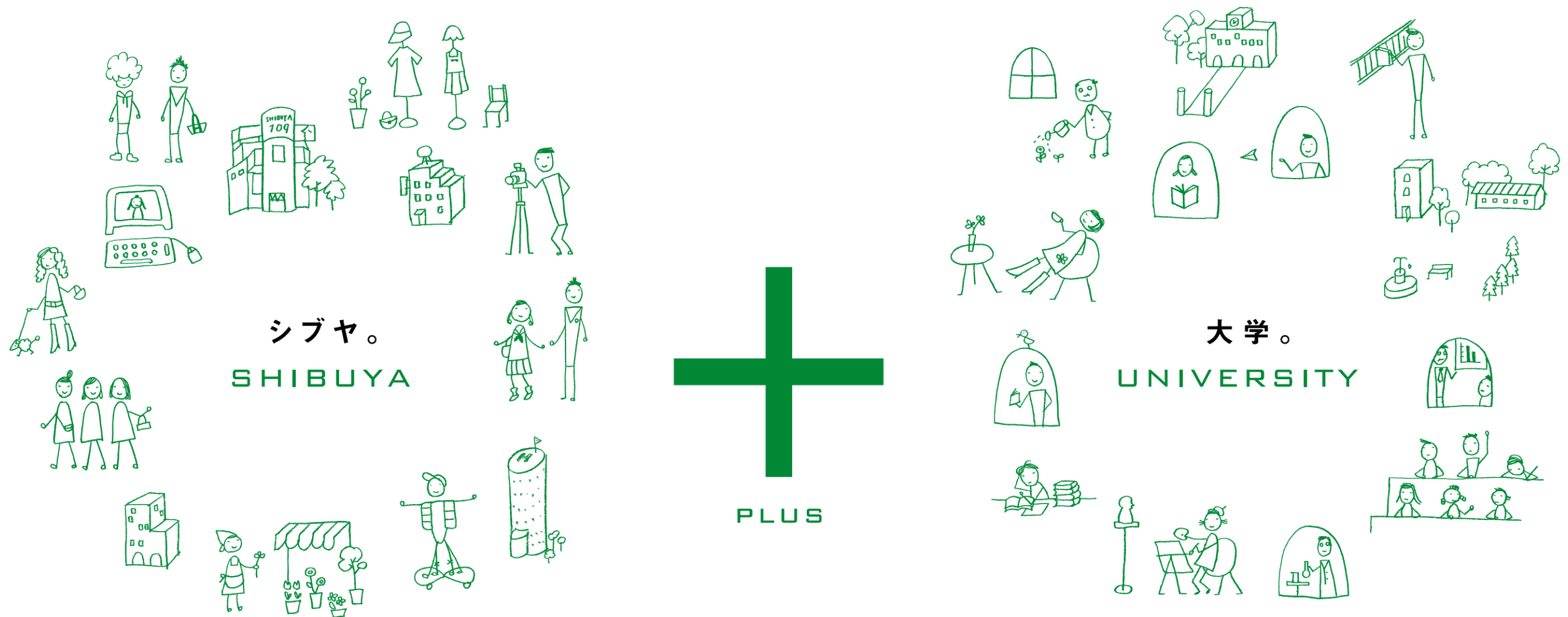
遊ぶのが  
いちばん楽しい街は、  
学ぶのが  
いちばん楽しい街になれる。

「日本の教育ってどうなんだろう」という思い。  
「シブヤって、ホント面白い人がたくさんいるなあ」という思い。  
ふたつの思いは、それぞれバラバラにあったけど、  
このふたつをくっつけてみると……。  
地域密着型の新しい教育のカたちは、  
各地で少しずつ生まれているけれど、  
これをやるならシブヤほど可能性を秘めた街はないんじゃない？  
シブヤ大学の構想は、その気づきからスタートしました。



「シブヤ」のいいところと「大学」のいいところ、  
どっちも取り入れる。

私たちの名前は、そのまま私たちの理念です。



そこには、新しいお店や、新しいカルチャーや、  
新しいビジネスが生まれています。  
あらゆるジャンルの若々しいエネルギーが集まって、  
つねに何かが生み出されているこの街は、  
つまり、他には例を見ないほど「魅力的な人」の宝庫なんですよね。

そこには、「お金」とは別の価値観があったり、  
世の中よりゆっくらな時間があったり、広々とした空間があったり、  
そういう場所だからこそできる研究や教育があったり……。  
知性や好奇心に対する雄大なスタンス、学びたいなあと思いました。

シブヤ大学には、  
校舎がありません。シブヤが、  
まるごとキャンパスです。

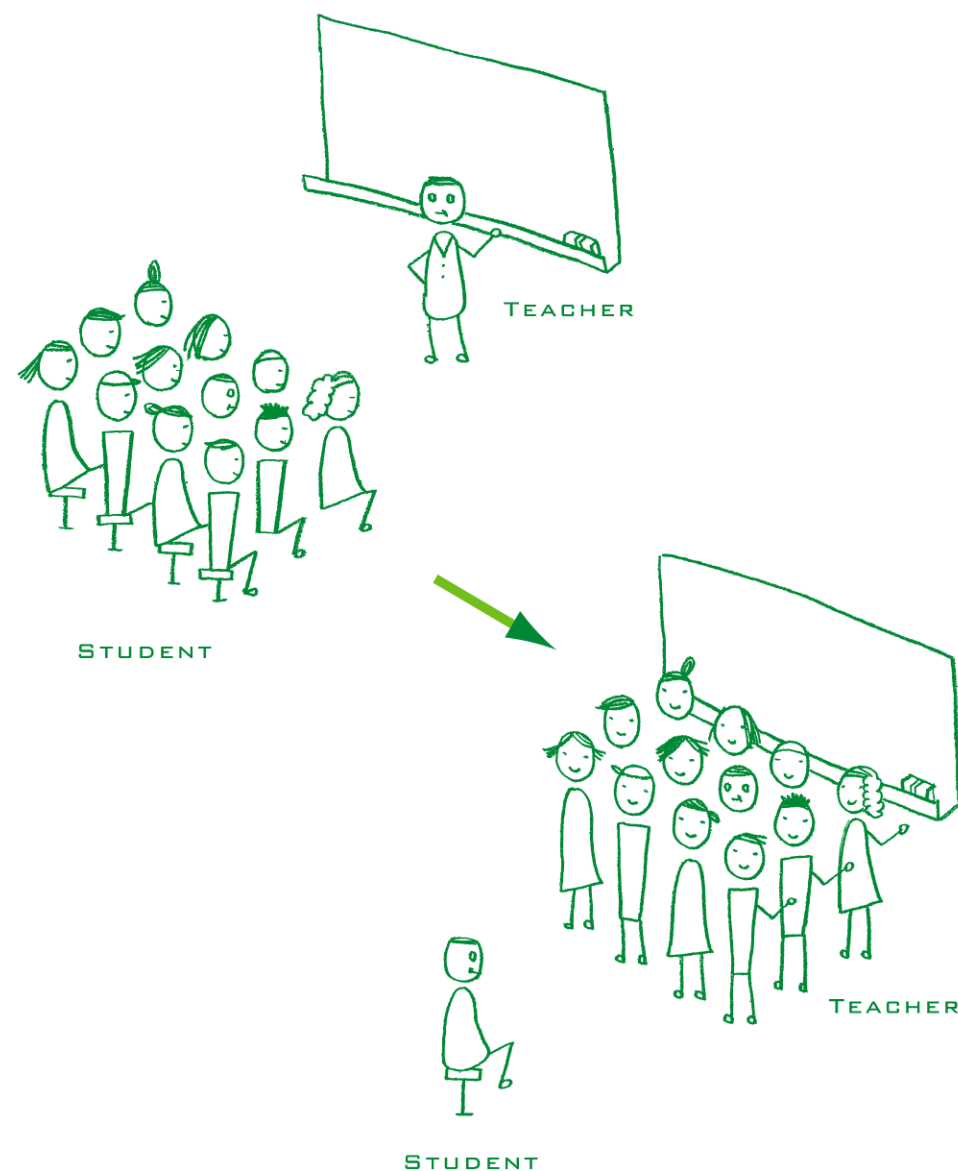


時には国連大学、時には表参道ヒルズ、時には明治神宮。

シブヤじゅうの施設と提携しながら、カリキュラム単位で変わる教室。

いわば、日本一広大なキャンパスです。

シブヤ大学の場合、  
生徒は、先生にもなれます。



教える人は生涯教える人。教わる人は生涯教わる人。

役割の決まりきった教育ではなく、

「教える」と「教わる」を自由に行き来できる教育。

考えてもみてください。教えるとなったら、ものすごく勉強してしまうだろうし、

教えることで、はじめて教わることもきっと沢山あるはずです。

たとえば、こんな授業に  
なるのではないのでしょうか。



「教育」は「共育」。

「子どもが聞く、お父さんの子育て日記」

先生:新米お父さん(区内郵便局勤務)



日々できるロハスライフ。

「わたしの極秘ゴミ分別術」

先生:新米お母さん(区内在住)



子どもが考える人間関係。

「兄弟姉妹の喧嘩&仲直りのしかた」

先生:男子小学生(区内小学校在学)



わからない、と言う  
先生がいてもいい。

「女子高生から見た日本の歴史、ここが分かりません!」

先生:女子高校生(区内高校在学)



囲碁に興味がなくとも、  
受けたい授業。

「囲碁から学ぶ、勝利の哲学」

先生:囲碁クラブ代表



大人こそ、体育を。

「僕は山が大好きです」

先生:街のおじさん(個人商店経営)



有言実行のための  
場にもなる。

「わたしの夢は、とめられない」

先生:女子中学生(区内中学校在学)



指先を使うのも、立派な体操。

「頭と体の関係。ルービックキューブ3分完成術」

先生:ゲームの達人(区内おもちゃ会社勤務)

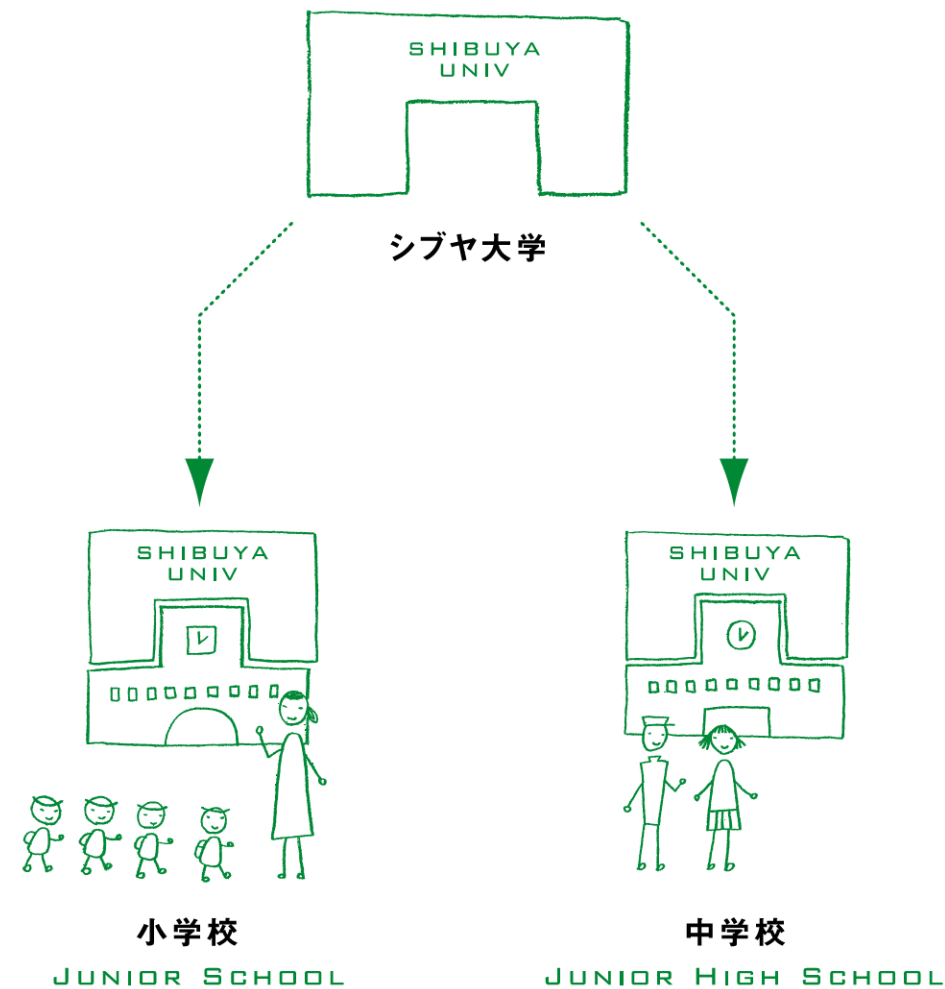
渋谷区に住んでいる人か、渋谷区で働いている人から、

年に数回、HP上でユニークな授業を公募。

この街に眠っている「才能」や「経験」をつねに発掘していきます。

審査委員会による審議後、面談を経て、晴れて先生に。

小学生のための、  
大学になります。  
中学生のための、  
大学にもなります。



渋谷区内の小学校や中学校からの要望を聞き、  
シブヤ大学が、かつてない授業をプロデュースします。  
企業とのコラボレーション授業あり、  
NPOやNGOとのコラボレーション授業あり……。  
くわしくは右ページをご覧ください。

企業との  
コラボレーション授業



会社や工場などを見学



企業から、業務に関連する  
分野の講師を派遣

NPO/NGOとの  
コラボレーション授業



NPO/NGOから、  
その取り組みに関連する  
分野の講師を派遣



NPO/NGOの活動に参加

プロスポーツチームとの  
コラボレーション授業



野球



サッカー

いろんな分野のトップランナーが講師に

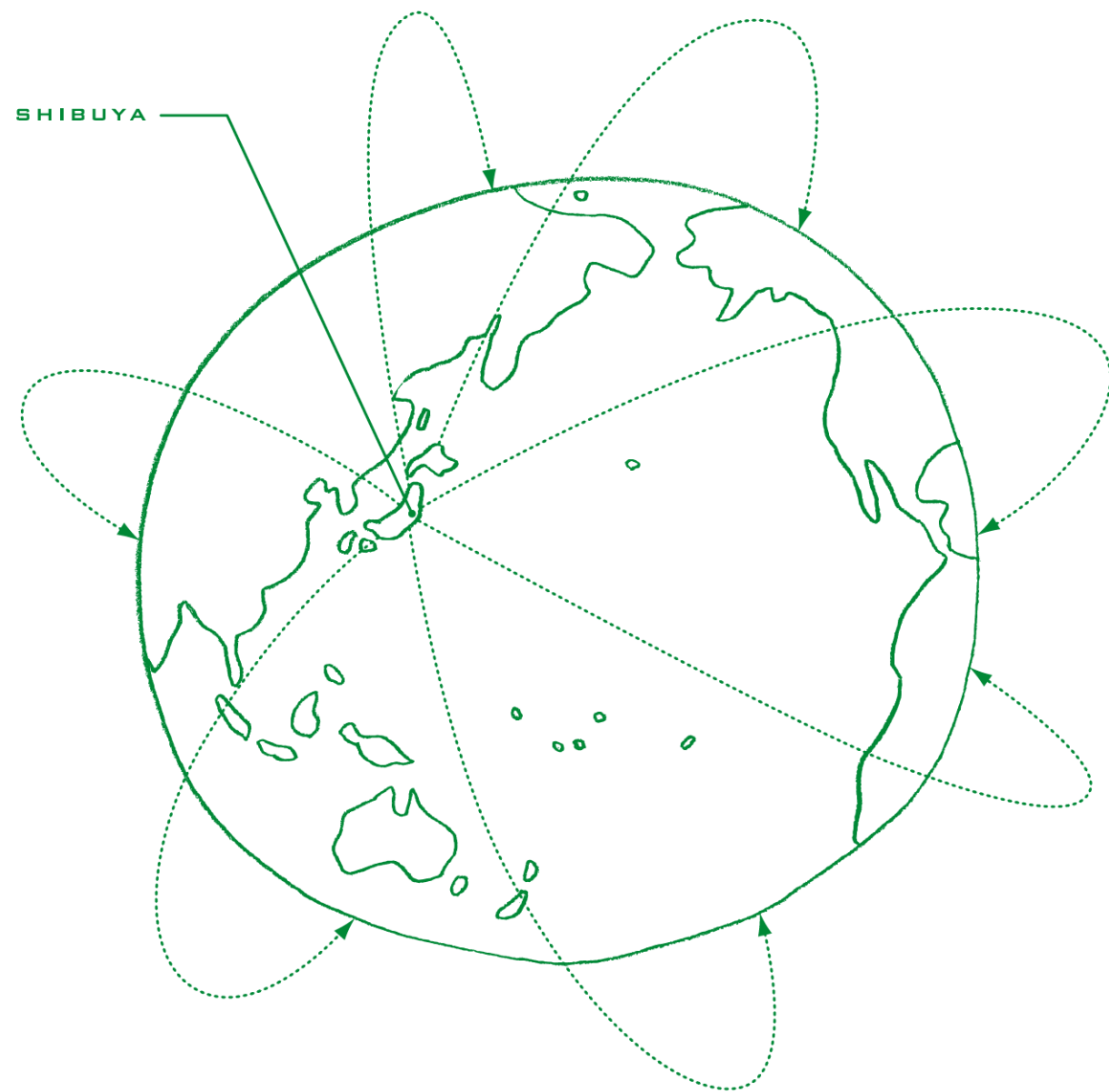


デザイナー、クリエイター、学者、スポーツ選手

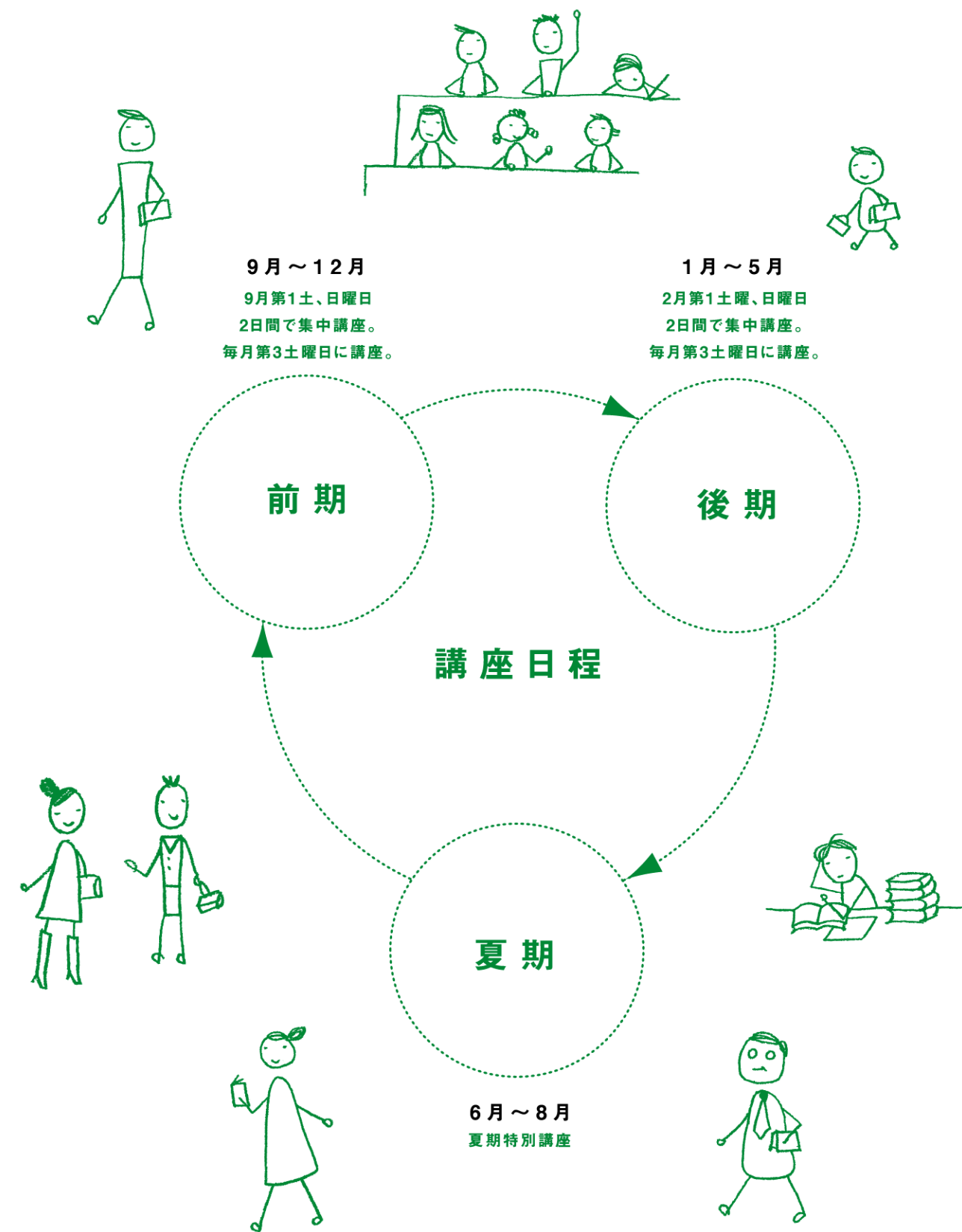


働く大人を間近に見ること。  
モノが生まれる工程の、音や匂いを知ること。  
NPOやNGOの活動に参加して、汗を流すこと。  
子どもたちには、できるだけ新鮮な方法で  
「生の社会」に触れてもらいたい。そのための、  
さまざまなプログラムをつくり、セッティングします。

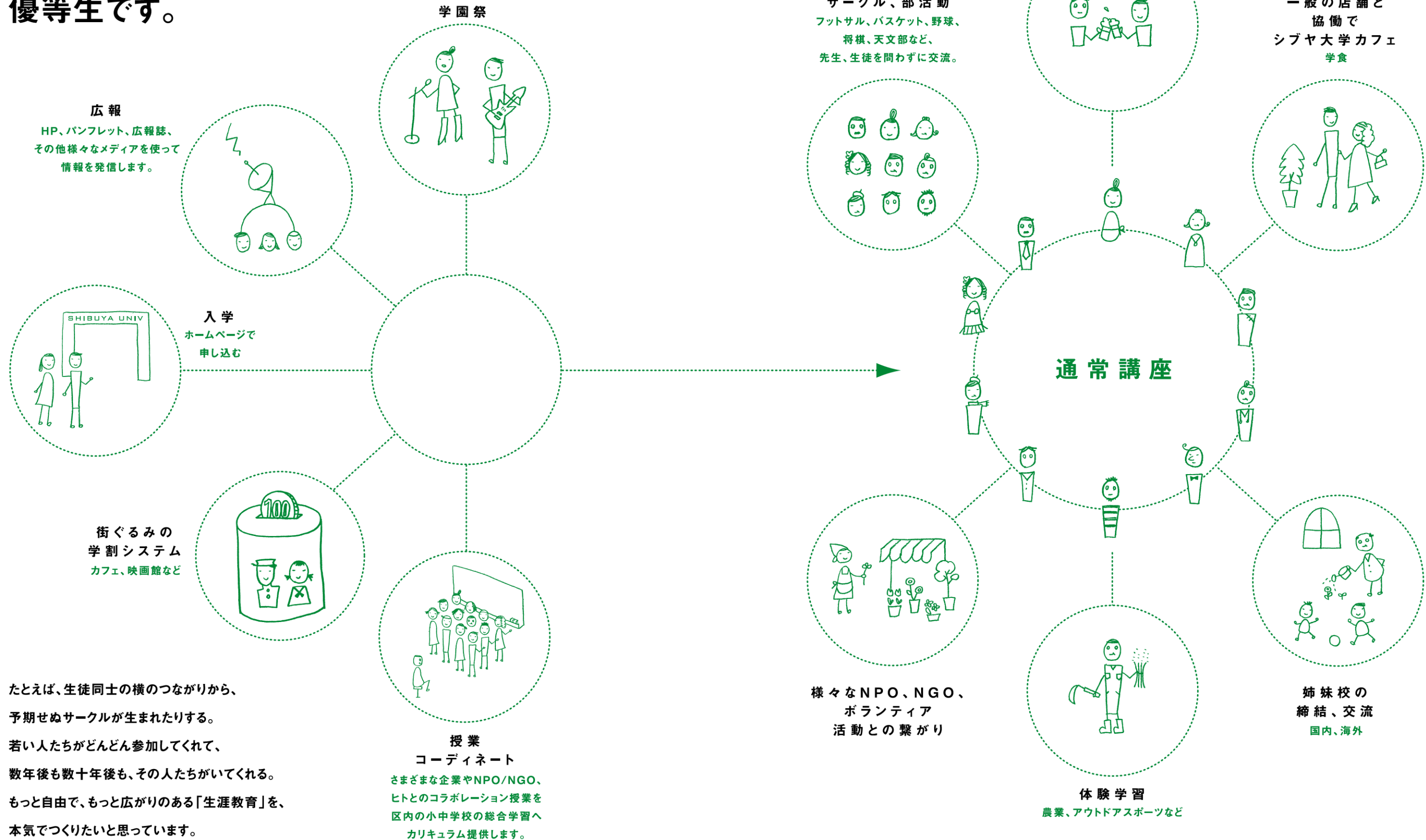
ちょっとだけ、  
胸を張れる  
特別講師陣です。



渋谷との関わりが深い、  
いろいろな分野のエキスパートたち。  
「日本の未来は、シブヤから生まれる」  
私たちのそんな想いに賛同し、  
「やってもいいよ」と言ってくれる方たちが、  
いま現在、これだけ揃いました。



# いつまでたっても卒業しない。 それがきっと、シブヤ大学の 優等生です。



たとえば、生徒同士の横のつながりから、予期せぬサークルが生まれたりする。若い人たちがどんどん参加してくれて、数年後も数十年後も、その人たちがいてくれる。もっと自由で、もっと広がりのある「生涯教育」を、本気でつくりたいと思っています。



# シブヤ大学が夢見る、 これがシブヤの 未来予想図。



隣に住む  
人の名前を、  
みんなが知っている  
街になる。



交換留学生や  
交換職場体験が  
さかんな街になる。



ペットのことも、  
住人と考える  
街になる。



世界中の  
観光客が、  
緊張しない  
街になる。



ゆっくり  
歩きたい人が、  
せかされない  
街になる。



日本中のどこよりも、  
子どもが増えはじめる  
街になる。



他人の子を  
叱る人も、ほめる人も、  
いる街になる。



アートはあるが、  
落書きはない  
街になる。



公園の芝生で、  
ゴロゴロできる  
街になる。



「産・学・行・民」の  
代表が集まって、  
会議をする  
街になる



ゴミ拾い運動の  
いらない  
街になる。



選挙に行くことが、  
あたりまえの  
街になる。

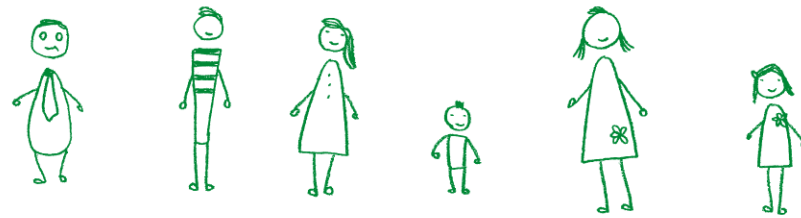


シブヤ大学の遠い目標は、  
シブヤに関わるすべての人と、関わること。  
そして日本のすべての街の、いいお手本にシブヤがなること。  
「壮大すぎるよ」と笑われるかもしれませんが、私たちの大学が、  
やがては、街づくりのひとつの大きな起点になれば、  
それ以上の幸せはありません。



シブヤといえば  
高齢者、  
とも言われる  
街になる。

あなたがいれば、  
カタチが変わる。  
シブヤ大学は、  
ネットワークですから。



「シブヤ」と「大学」

ひょんなことから、ふたつをくっつけてみると……。

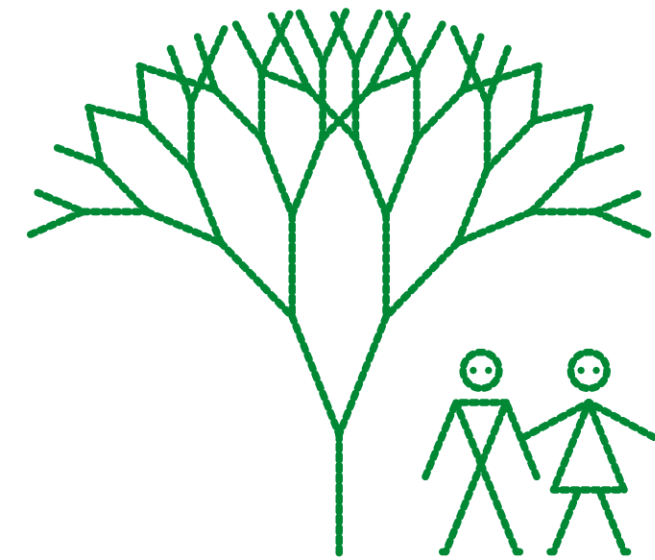
「あれもできる」「これもできる」と一気にアイデアが広がって、  
それが驚くほど順調に、ひとつの事業になりました。

2006年9月は、シブヤ大学の完成ではなく、あくまでもスタート地点。

これからも、いろいろな人々に参加してもらうことで、  
カタチを変えていきたい私たちです。

見えないけれど、そこにある。

シブヤ大学、開校。



SHIBUYA  
UNIVERSITY  
NETWORK